

5. 水害に対する防災の考え方 西日本豪雨の被害…死者・行方不明者230人を超える大災害

平成30年7月 西日本豪雨 死者・行方不明者230人を超える大災害
 大量の雨によって引き起こされる水害 激甚化
 大雨が降るといことは、いつでもどこでも起こりうる！ 足立区総合行政防災アドバイザー
 偶然、私たちが住む地域で、起こっていないだけです。 東京大学客員教授 松電一郎さん

死者・行方不明者230人を超える
西日本豪雨
 平成30年7月

5. 水害に対する防災の考え方 水から命を守るために…水害から命を守るために…水害から命を守るために…

洪水から命を守るために ポイント①自分の住む場所の被害の予測を知る
 洪水から命を守るために ポイント②浸水の恐れがある場所から事前に避難する
 洪水から命を守るために ポイント③正確な情報を素早く入手する

ポイント① 洪水から命を守るために
自分の住む場所の被害の予測を知る

ポイント②
浸水のおそれがある場所から事前に避難する

ポイント③
正確な情報を素早く入手する

6. 水害地区行動計画(コミュニティタイムライン)…地域・地区の現状/避難行動計画 足立区[YouTube]から

[住民・地域・行政連携][避難行動]ができるかどうか、…備えることで命は守られる
 ハザードマップがあっても、避難勧告が発令されても、それだけでは[避難行動]できない
 中川氾濫に備えた 隅田自治会 事前防災行動計画(水害タイムライン)
 住民がコミュニティ(地区)タイムラインを持つようになると

一度起きたら 甚大な被害をもたらす洪水
 しかし 備えることで命は守れるのです

7. 地区防災計画(コミュニティタイムライン)…地域・地区の現状/避難行動計画 足立区[YouTube]から

何の準備も心構えもなく、稲城市、川崎市、国、県の管理のハザマと未管理水門から浸水

16:03~16:08 全閉⇒道路冠水(地下)住民救出
 16:43~18:30 全開⇒道路冠水(地下)住民救出

<三沢川水門> 川崎市 多摩区 [住民・地域・行政]
 管理者不在=錆びて閉まらなかった水門(川崎市/稲城市)
 関心がなかった=想定できなかった=想定しなかった=知らなかった
 =>どこからの何の水? 判らなかった
 [避難行動] しなかった=できなかった
 =>浸水してしまった =>車両全損・住宅家財半壊
 =>車両移動・家財上階移動できていれば、減災・被害減額

7. 地区防災計画(コミュニティタイムライン) 国交省「ハザードマップポータルサイト」
 地域の水害リスク・浸水対策・防災を考える (1 住む場所の災害予測)

●ハザードマップが随分更新!!!
 「ハザードマップの更新 国交省「ハザードマップポータルサイト」 <http://dsportal.gsi.go.jp/>
 ①航空写真
 ②三沢川 浸水長さ=8.3km、浸水面積=16.9km²、浸水深度=40cm/浸水経路、
 三沢川に浸水する水門は、下水の雨水幹線に設置されており降雨強度=52mm/hに設定している

7. 地区防災計画 (コミュニティタイムライン)…国交省「ハザードマップポータルサイト」
 3 地区住民が共有する地区行動計画あれば、防災行動などを定めた行動計画

地区防災計画制度とは、 令和4年1月12日
 内閣府防災担当普及啓発・連携担当セミナー

1. 地区で取り組む「共助」(及び「自助」)の取り組みを「地区防災計画の素案」として具体化する

2. 作成された「地区防災計画の素案」を、市町村の「地域防災計画」に反映し、地区における「共助」(及び「自助」)の取り組みと市町村の「公助」の取り組みを連携させる

内閣府・地区防災計画アドバイザー会議・座長
 東京大学社会科学研究所・特任教授 東京大学生産技術研究所・教授 加藤幸晴先生

- 自治体の地域防災計画の下位計画ではない
- 決定的に性質が異なる

災害に強い地区
 = 豊かなコミュニティがある
 (鶏が先か卵が先か?)
 (防災が先か
 コミュニティが先か?)
 (コミュニティがなければ
 防災は無理? ダメ?)
 ではなく
 コミュニティが豊かな
 地区は防災も強い!
 =>楽しく 防災もまちづくり
 =>「地区防災計画」

浸水被害後、浸水原因を探り
 対策を求め
 防災を考えて調べ求め続けて
 「地区防災計画」を知る
 「防災塾・だま」に出会う